

人生を、
もっと豊かに――

中高年の婚活心得

平均寿命男性79歳、女性86歳。長い人生、パートナーと支え合って暮らしたいと今、中高年の婚活が増えています。しかし、大人同士の結婚は恋心だけじゃうまくいかないものだから。
50歳以上の婚活心得を、結婚相談所の全国仲人連合会・東京地区本部長、日高晶元さんにお聞きしました。

「婚活」に年齢は関係ありません

――最近、中高年の婚活者が増えていると聞きますが。

そうですね。特に東日本大震災後、1人暮らしは不安だと、相談に来られる方が増えました。みなさん、婚活といえは、若い方のものと思われるでしょうが、私がお世話している方々は20〜80代と幅広い。50〜60代で初婚の方も少なくありません。結局、世の中、男女しかいないのですから、支え合うパートナーを求め、求める気持ちは自然なことです。「出会い」に年齢は全く関係ない

と思いますよ。

――若い世代と違う、中高年の婚活ならではの「傾向」はありますか。

「二人じゃ寂しい」という動機に年齢差はありませんが、年を重ねるとパートナーと死別されたり、離婚されたりと、若者に比べて多くの人生経験を積んでおられる方が増えます。ですから、事実婚や週末婚など、形にこだわらない自由な「結婚スタイル」を望む傾向がありますね。

――なかなか結婚まで踏みきれない方もいるようですが、どんな理由が多いのでしょうか。

大きくふたつですね。財産とお子さんのことです。せっかく良い方と巡りあっても、お子さんの反対でうまくいかないケースが多い。率直に言ってお子さんは財産のことを気にされているのです。生前贈与するとか、入籍しないなどと、策はあります

からあきらめないでほしい。

また、子どもが独身だからと、自分の結婚をためらう方もいます。語弊があるかもしれませんが、それは思いやりじゃありません。自分が幸せをつかめば、お子さんも安心して一歩前に踏み出せる。一度しかない人生、ご自分がいきいきと暮らすことがお子さんやご親戚、みんなの幸せにつながるのではないのでしょうか。

Q
始めた理由は？

A1
一緒に旅行に行きたい

A2
1人の食事は味けない

A3
家で会話をしたい



婚活アドバイス

1 再婚すれば遺族年金はもらえません

夫と死別し、共済年金・厚生年金の遺族年金をもらっている方が再婚(事実婚を含む)されると、年金支給はストップしますから要注意です。

これからの人生、経済面も安定していなければ、豊かな新生活は送れません。パートナーとよく話し合いましょう。

2 過去は過去だと割り切りも必要

「昔のダンナは稼ぎが良かった」「前の妻は美人だった」などと過去の思い出にこだわって、良いご縁はやってきません。前を向いて、あなたに合ったパートナーを探しましょう。

男性は相手の「顔やスタイル」、女性は「経済力を含めた全条件」を気にする傾向がありますが、一緒にいて安らげるが一番です。

3 いつまでもいると思うな親と友人

私の会員さんで67歳の女性がいます。彼女は仕事に生きた方ですが、今、熱心に婚活中です。理由は「定年したら遊ぼう」と約束していた友人たちも自分も老いてしまい、会えなくなってしまったから「寂しい」と。両親も他界し、親族もいません。

もし病気やけがで手術が必要になったら、誰が保証人になってくれるのか不安だとも言います。人それぞれ考え方はありますが、私は、人は一人では生きていけないと思いますよ。

仲人：日高晶元さん

全国仲人連合会・東京地区本部長。20年前に「人のお役に立ちたい」と公務員から仲人業に転職。1000以上の婚活をお世話する。地方自治体の婚活活動も支援。69歳。

☎ 03-5386-3161

http://www6.ocn.ne.jp/~omia/

